

第91回メーデー新潟県中央実行委員会
実行委員長 牧野 茂夫 様

第91回新潟県中央メーデーにあたり、皆様に連帯のメッセージを送ります。

労働者の権利擁護を広くアピールする労働者の祭典メーデーが、今年は新型コロナウイルスの感染拡大によって、大規模な集会やデモ行進を中止せざるを得なくなったことは大変残念です。終わりの見えないウイルスとの戦いの中で、事業の自粛や外出自粛により、国民の暮らしと日本経済は大打撃を受けており、雇用不安も懸念されています。

思えば、年明けからすでに中国武漢で謎の感染症拡大との情報があっても日本政府の動きは鈍く、4月の習近平国家主席の来日と東京五輪の開催を予定通り実現することを最優先したため、全てが後手に回りました。欧米諸国は国民の困窮を救うべく直接的な補償を迅速に実行したというのに、我が国の総理大臣は「全国民への布マスク2枚配布」「星野源さんとのコラボ」と的外れのことをしました。さらには、閣議決定までした「減収世帯30万円給付」を急転直下で取り下げて「一律10万円給付」に政策転換し、まさに場当たりので混乱の極みです。

今、やるべきことは医療現場の最前線で働いている医療従事者や必要な物資を運送してくれる人たち、公共交通機関や役所で市民に必要な支援を行う職員の皆さんなど、私たちの社会生活を守るために奮闘している人たちを応援し、励まし、共に支え合うことではないでしょうか。一斉休校を余儀なくされた子どもたちの心のケアや教職員、保護者へのサポートも喫緊の課題です。

国難を乗り越えるため、また全ての働く仲間の暮らしと雇用を守るため、皆様のより一層の団結を心からお願い申し上げ、メッセージと致します。

2020年4月29日

衆議院議員 菊田 まきこ